

教 科 用 図 書 採 択 参 考 資 料 綴 り

教 科 名 体 育

調査研究報告書

(小委員会名：体 育)

1. 調査研究の経過及び内容	<p>6月14日(金)第1回 教科用図書調査委員会</p> <ul style="list-style-type: none">・委嘱状交付・小委員、資料、小委員会の内容等の確認・小委員会開催日程の協議 <p>7月 8日(月)第1回 体育小委員会</p> <ul style="list-style-type: none">・見本本と各教科書を分析した参考資料をもとに協議 <p>7月11日(木)第2回 体育小委員会</p> <p>第1回体育小委員会で協議した内容を整理し「教科用図書採択参考資料」を作成</p> <p>7月29日(月)第2回 教科用図書調査委員会</p> <p>「体育」小委員会では、小学校体育科(保健)用の5社の採択見本本と下記の資料をもとに、総合的且つ慎重に調査研究を進めてきた。</p> <p>5社の調査研究の内容については、1社ずつ「調査研究の観点」に沿って取り扱い内容、内容の構成・排列、分量等を吟味し、別紙の通り「教科用図書採択参考資料」にまとめた。</p>
2. 調査研究の具体的資料	<ol style="list-style-type: none">1 教科書編修趣意書2 採択参考資料3 学習指導要領解説
3. 少数意見等	<ul style="list-style-type: none">・防災や自然災害の取り扱いについては、出版社によって軽重がある。・北海道（釧路）に関連する内容がほとんどなかった。・授業ごとに記述できる欄が充実している。・記述欄が増えたことによりページ数が増加している出版社がある。・デジタルコンテンツや資料が充実している。

教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	2・東書	第3,4学年・保健 第5,6学年・保健	保健 301 保健 501	新しいほけん3・4 新しい保健5・6
取扱内容	学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	<p>○ 各学年の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第3,4学年～ 「けんこうな生活」では、健康の状態には主体の要因や周囲の環境要因が関わってくること、また、健康を保持増進するには、1日の生活の関わり、生活環境を整えることが必要であることを理解する。</p> <p>「体の成長とわたし」では、体の発育・発達に関する課題を見つけ、よりよい解決に向けて考える活動を通して、発達・発育には個人差があること、思春期における男女の体の変化や異性への関心、体の発育・発達について理解するとともに食事、運動、休養、睡眠の大切さも理解する。</p> <p>第5,6学年～ 「心の健康」及び「けがの防止」については、心と体が影響し合っていることについて考えたり、事故やけがの原因を調べたり、犯罪が起りやすい場所について考えたりする活動を通して、心の発達及び不安、悩みへの対処やけがの防止について理解する。</p> <p>「病気の予防」については、感染症や生活習慣病、むし菌の予防の仕方について考えたり、喫煙や飲酒が健康に及ぼす影響について調べたりする活動を通して、望ましい生活習慣を身につけることや病気の予防について理解する。</p> <p>○ 知識・技能の習得、活用、探求への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第3,4学年～ 健康な生活、発育・発達の大切さに気づき、健康な生活の仕方やよりよい発育・発達を目指し、学習活動に進んで取り組む。</p> <p>第5,6学年～ 心の健康、けがの防止、病気の予防の大切さに気づき、対処や予防する視点から、学習活動に進んで取り組む活動。</p>		
排内列内容の分構成等	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第3,4学年～ 健康によい生活の仕方について学習した後、学習したことを生かして自分の考えをまとめる活動を位置づけ、既習事項を生かすことができるようになるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5,6学年～ 身近な生活における健康・安全について学習した後、健康に関する目標を立てる活動を位置づけ、中学校での指導に結びつけるようにするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。(学びの記録スペースが増加している)</p> <p>第3,4学年～ 「けんこうな生活」は20ページ、「体の成長とわたし」は18ページ、総ページ数は45ページで、前回より35%増である。</p> <p>第5,6学年～ 「心の健康」は16ページ、「けがの防止」は28ページ、「病気の予防」は30ページ、総ページ数は81ページで、37%増となっている。</p>			
使用上の配慮等	<p>(1) 学習の進め方…「気づく・見つける」→「調べる・解決する」→「深める・解決する」→「まとめる・生かす」の4ステップ構成。資料や話し合いをもとにして課題を解決し、学習したことをまとめ、自分の生活や今後の学習に生かす活動につなげている。</p> <p>(2) 学びの記録化…学習の要点をまとめたり学びを記録することで、学びの記録化ができる。ワークシートやノートが必要がなく、授業のまとめがスムーズにできる。また、記録から評価の手がかりとしても活用できる。</p> <p>(3) 資料やデジタルコンテンツの活用…学びの手助けとして、動画やシミュレーションのデジタルコンテンツを活用することができる。5・6年生の保健領域に「技能」の内容が加わったことから、映像で確認できるコンテンツが多数ある。</p> <p>(4) 系統性と関連性…学年の発達段階に即した内容の履修、また、どちらでも扱う内容がある。</p>			
その他	<p>編集上の配慮</p> <p>①インクルーシブ教育への配慮～デザイン、個人差への配慮、共生</p> <p>②オリンピック・パラリンピック教育、キャリア教育、情報活用、他教科関連～運動・スポーツの意義、職業観を育む、カリキュラムマネジメント</p> <p>③今日的な健康課題への対応～生命尊重、いじめ、体力向上、がん、薬物乱用など、変化していく社会に対応</p> <p>④教科書の大きさがA B判からA 4判に変更されている。</p> <p>学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。 ※小学校用教科書目録(平成32年度用 文部科学省)による</p>			

教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	4・大日本図書	第3・4学年・保健 第5・6学年・保健	保健 302 保健 502	たのしいほけん3・4年 たのしい保健5・6年
取 扱 内 容	学習指導要領の総則 及び各教科、各学年 の目標、内容等	<p>○ 各学年の目標を達成することができるように、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第3,4学年～ 「毎日の生活と健康」については、自分の一日の生活を振り返り、規則正しい生活について考えたり、身の回りの生活環境の整え方について考えたりする活動を通して、健康の大切さを認識するとともに、健康な生活の仕方について理解する。</p> <p>「育ちゆく体とわたし」については、1年から4年までの自分の身長の変化を調べたり、思春期における体の変化や健康によい食事を考えたりする活動を通して、体の発育・発達について理解する。</p> <p>第5,6学年～ 「心の健康」および「けがの防止」については、不安や悩みに関する自分の経験を振り返ったり、犯罪被害に遭わない行動の仕方を考えたりする活動を通して、心の発達および不安、悩みへの対処やけがの防止、けがの手当の仕方について理解する。</p> <p>「病気の予防」については、病原体が主な要因となって起こる病気や生活の仕方が要因となって起こる病気の予防の仕方について考えたり、喫煙や飲酒、薬物などが健康に及ぼす影響について調べたりする活動を通して、病気の予防について理解する</p>		
の 目 標 、 内 容 等		<p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第3,4学年～ 健康によい生活を送るために自分が気をつけることを考えたり、体がよりよく成長するために自分が実行することを考えたりするなど、知識を活用する活動。</p> <p>第5,6学年～ 自分が不安や悩みをもったときの対処の仕方について考えたり、飲酒や喫煙などを勧められたときの断り方を考えたりするなど、知識を活用する活動。</p>		
排 内 列 容 ・ の 分 構 量 成 等	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がされている。</p> <p>第3,4学年～ 体の変化や発育の違いについて学習した後、命の大切さを扱う発展的な内容を位置づけ、体をよりよく発育・発達させる大切さについて認識を深められるようにするなど、系統的、発展的に学習できるような工夫がされている。</p> <p>第5,6学年～ 病気の起因と生活との密接なつながりを考えるとともに、喫煙や飲酒、薬物への問題点をおさえた後、人から勧められたときの断り方を学習する活動を位置づけるなど、系統的、発展的に学習できる工夫がされている。</p> <p>○ 内容の分量においては、次のようになっている。</p> <p>第3,4学年～ 「毎日の生活と健康」は14ページ、「育ちゆく体とわたし」は14ページであり、総ページ数は29ページで、前回と同程度である。</p> <p>第5,6学年～ 「心の健康」は12ページ、「けがの防止」は14ページ、「病気の予防」は22ページであり、総ページ数は49ページで、前回よりも9%増となっている。</p>			

<p>使用上の配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各単元の導入で、単元全体にかかわる課題を発見できる挿絵を見開き2頁に掲載したり（全学年）、学習に関連する資料やホームページのアドレスを「ミニちしき」などとして効果的に掲載したり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「やってみよう」「話し合ってみよう」などの学習方法を提示したり（全学年）、課題の解決に結びつく視点やヒントをキャラクターの吹き出しで示したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。 ○ 目次に学習する内容と学習の仕方の流れや（全学年）、自分の成長の変化に興味・関心をもって学習できるシールを掲載したり（第4学年）、教科書の中に学習の記録としてノートのように記入できる欄を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
<p>その他</p>	<p>学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。 ※小学校用教科書目録（平成32年度用 文部科学省）による</p>

教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	207・文教社	第3, 4学年・保健 第5, 6学年・保健	保健 303 保健 503	わたしたちのほけん3・4年 わたしたちの保健5・6年
取 扱 内 容 学習指導要領の総則 及び各教科、各学年 の目標、内容等	<p>○ 各学年の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第3, 4学年～ 「毎日の生活と健康」については、生活リズムの見直しを考えたり、体を清潔にするために気をつけていることを振り返ったりする活動を通して、健康の大切さを認識するとともに、健康によい生活について理解する。</p> <p>「育ちゆく体とわたし」については、自分の体格の変化や発育の個人差について調べたり、思春期における異性とのかかわり方について考えたりする活動を通して、体の発育・発達について理解する。</p> <p>第5, 6学年～ 「心の健康」及び「けがの防止」については、不安や悩みに関する自分の経験を振り返ったり、けがを防ぐためのめあてを考えたりする活動を通して、心の発達及び不安、悩みへの対処やけがの防止について理解する。</p> <p>「病気の予防」については、病原体が主な要因となって起こる病気の予防の仕方について考えたり、喫煙や飲酒などが健康に及ぼす影響について考えたりする活動を通して、病気の予防について理解する。</p> <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第3, 4学年～ 自分の生活調べを通して生活リズムを見直す点について考えたり、より良い発育のために心がけたいことを考えたりするなど、知識を活用する活動。</p> <p>第5, 6学年～ 自分の学校の「校内安全点検」や地域の安全点検をしたり、自分が食べているおやつ脂肪分や塩分の量を調べたりするなど、知識を活用する活動。</p>			
排 内 列 容 ・ の 分 構 量 成 等	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第3, 4学年～ 体の清潔について学習した後、手や1日着た衣服の汚れを調べる学習を位置付け、調べた事を生かして学習内容の定着が図られるようにするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫。</p> <p>第5, 6学年～ 思春期の心の健康について学習した後、友達の不安や悩みへのアドバイスを考える学習を位置付け、自分から他者へと考える視野を広げられるようにするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫。</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第3, 4学年～ 「毎日の生活と健康」は10ページ、「育ちゆく体とわたし」は14ページであり、総ページ数は25ページで、前回と同程度である。</p> <p>第5, 6学年～ 「心の健康」は10ページ、「けがの防止」は12ページ、「病気の予防」は22ページであり、総ページ数は45ページで、前回より約10%増となっている。</p>			
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 「動機付け」→「追究・理解」→「実践への意欲付け」という構成になっており、「考えてみよう」、「話し合ってみよう」などの学習方法を提示することで、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○ 【情報コーナー】や【発展】の欄を設け、学習内容に広がりをもたせ、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 場面や様子がわかりやすくなるように、イラストを工夫したり、簡潔で分かりやすく読みやすい文章表現にするなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
そ の 他				

教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	208・光文	第3, 4学年・保健 第5, 6学年・保健	保健 304 保健 504	小学ほけん3・4年 小学保健 5・6年
取 扱 内 容	学習指導要領の総則 及び各教科、各学年 の目標、内容等	○ 各学年の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第3, 4学年～ 「毎日の生活と健康」については、1日の生活を振り返り、生活時間表を作ったり、身の回りの環境の整え方について考えたりする活動を通して、健康の大切さを認識するとともに、健康によい生活について理解する。 「育ちゆく体とわたし」については、個人による身長伸び方の違いを調べたり、思春期における男女の体の変化を比べたりする活動を通して、体の発育・発達について理解する。 第5, 6学年～ 「心の健康」及び「けがの防止」については、心と体の関係について考えたり、危険を予測し、安全な行動の仕方について考えたりする活動を通して、心の発達及び不安、悩みへの対処やけがの防止について理解する。 「病気の予防」については、病原体が主な要因となって起こる病気の予防の仕方について考えたり、喫煙や飲酒などが健康に及ぼす影響について考えたりする活動を通して、病気の予防について理解する。 ○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第3, 4学年～ 自分のこれからの生活や体の清潔を保つことについて気をつけたいことを考えたり、毎日続けられる自分に合った運動について考えたりするなど、知識を活用する活動が取り上げられている。 第5, 6学年～ 身の回りにある危険から身を守るための対処の仕方について考えたり、喫煙や飲酒のなどを勧められた時の断り方を考えたりするなど、知識を活用する活動が取り上げられている。		
排 列 の 分 構 量 成 等		○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第3, 4学年～ 自分の生活の仕方について学習した後、食育に関する内容を位置付け、学習したことを実生活に生かすことができるようにするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。 第5, 6学年～ 交通事故の防止について学習した後、安全な行動の仕方について学習する活動を位置付け、犯罪被害の防止も同様の流れで繰り返し学習できるようにするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。 ○ 内容の分量については、次のようになっている。 第3, 4学年～ 「毎日の生活と健康」は12ページ、「育ちゆく体とわたし」は14ページであり、総ページ数は29ページで、前回と同程度である。 第5, 6学年～ 「心の健康」は10ページ、「けがの防止」は18ページ、「病気の予防」は20ページであり、総ページ数は49ページで、前回より約9%増となっている。		
使 用 上 の 配 慮 等		○ 知っておくためになる内容や学習に関するホームページのアドレス(QRコード)を掲載したり(全学年)、健康に関する今日的な話題などを「保健の広場」として掲載したり(全学年)するなど、児童の学習意欲を高め、より深く理解できる工夫がなされている。 ○ 話し合いや記述などの学習方法をマークで提示したり(全学年)、課題の解決に結びつく視点やヒントをキャラクターの吹き出しで示したり(全学年)するなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。 ○ 各章末に「学習のまとめ」を設定し、学習した内容を選択式の問題で確認したり、学びに向かう態度を自己評価したりすることで、学習内容の定着と継続的な学びができるように工夫がなされている。		
そ の 他		学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。 ※小学校用教科書目録(平成32年度用 文部科学省)による		

教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	224・学研	第3・4学年・保健 第5・6学年・保健	保健 305 保健 505	みんなのほけん 3・4年 みんなの保健 5・6年
取 扱 内 容	<p>○ 各学年の目標を達成することができるように、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第3,4学年～ 「毎日の生活と健康」については、生活の仕方による心や体の調子の変化について振り返ったり、手や下着などの汚れや身の回りの環境などを調べたりする活動を通して、健康の大切さを認識するとともに、健康によい生活の仕方について理解する。</p> <p>「育ちゆく体とわたし」については、今までの自分の身長伸びを調べたり、思春期における体の変化や給食の献立を調べたりする活動を通して、体の発育・発達について理解するとともに、食事、運動、休養、睡眠の大切さも理解する。</p> <p>第5,6学年～ 「心の健康」および「けがの防止」については、事例を基に心と体のつながりや人とのかかわりを考えたり、事故やけがが起こりやすい場所や場面、行動について考える活動を通して、心の発達および不安、悩みへの対処やけがの防止、けがの手当の仕方について理解する。</p> <p>「病気の予防」については、病原体が主な要因となって起こる病気や生活の仕方が要因となって起こる病気の予防の仕方について考えたり、喫煙や飲酒、薬物などが健康に及ぼす影響について調べたりする活動を通して、病気の予防について理解する。</p> <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第3,4学年～ 身の回りの生活環境を整えるために自分が気をつけることを考えたり、体によりよく成長するために自分が実行することを考えたりするなど、知識を活用する活動が取り上げられている。</p> <p>第5,6学年～ 地域での事故や犯罪が起こりやすい場所などを調べたり、自然災害に備え自身の行動の仕方について考えたり、飲酒や喫煙などを勧められたときの断り方を考えたりするなど、知識を活用する活動が取り上げられている。</p>			
学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等				
排 内 列 容 の 分 構 量 成 等	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第3,4学年～ 自分の生活を振り返りながら健康によい生活の仕方について学習した後、学習したことを実生活に生かすことができるようにするなど、系統的、発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>第5,6学年～ 心と体のつながりについて学習した後、思春期における不安や悩みについて考える学習につなげている。病気の起因と生活との密接なつながりを考え、青少年の問題となる喫煙や飲酒、薬物への対処の仕方へ内容を広げるなど、系統的、発展的に学習できる工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量においては、次のようになっている。</p> <p>第3,4学年～ 「毎日の生活と健康」は14ページ、「育ちゆくからだとわたし」は17ページであり、総ページ数は33ページで、前回より約32%増となっている。</p> <p>第5,6学年～ 「心の健康」は12ページ、「けがの防止」は14ページ、「病気の予防」は25ページあり、総ページ数は53ページで、前回よりも29%増となっている。</p>			
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 単位時間ごと見開き2頁で構成され、問題解決的な学習の進め方をわかりやすいマークにより示し、全体の流れを見通すことができ、学習を進めやすくする工夫がなされている。</p> <p>○ 「考えてみよう」「調べてみよう」などの学習方法を提示したり（全学年）、課題の解決に結びつく視点やヒントをキャラクターの吹き出しで示したり（全学年）、「かがくの目」では関連する資料を解説付きで掲載したり、「ことば」では知識として知っておきたい用語の解説をするなど、児童の興味・関心を高め、主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○ 防災学習やコンピュータ・インターネットに関する内容を取り上げ、日頃の備えの重要性や安全なインターネットの利用の仕方など児童の日常生活に関連した課題について、学習できる工夫がなされている。</p>			
そ の 他	<p>学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。 ※小学校用教科書目録（平成32年度用 文部科学省）による</p>			